

地域活性化伝道師プロフィール		分野		地域産業・イノベーション・農商工連携		農・林・水産業	
		地域医療、福祉・介護、教育				観光・交流	
		地域コミュニティ・集落再生				環境	
		地域交通・情報通信				まちづくり	
ふりがな		かわぐち まこと					
氏名		川口 真					
所属	名称	オフィス en-jin(えんじん)					
	役職	代表					
連絡	住所	(公開)	〒 086-1656 北海道標津町南6条西4丁目				(職場)
		(公開)	E-Mail j9_9j-5[アットマーク]taupe.plala.or.jp				
	連絡先	(公開)	TEL 090-3891-4873		FAX 0154-82-3309		
		連絡方法					
略歴		<p>現職 R310月 オフィス en-jin(えんじん)代表  H25年4月 標津町役場退職  (元 標津町役場企画政策課長、水産課長、商工観光課長)  (元 標津町サーモン科学館館長)  (元 標津町地域ハサップ推進協議会事務局長)  (元 標津町観光協会事務局長、標津町エコツーリズム協議会事務局長)  H15年～21年 北海道地域づくりアドバイザー(制度改正により終了)  H20年～ 総務省地域人材ネット登録修正部分</p>					
著作・論文等		2002年 全国漁場整備研究発表会講演集「標津町地域ハサップの取り組みと効果」 水産庁2003年 漁港45巻「標津町の都市漁村報告」全国漁港協会2008年 月刊建設52「漁業を観光化して観光を産業化へ・都市漁村交流報告」全日本建設技術協会 2007年 町村週報2609号 北のふるさと移住計画～無償分譲で定住促進を図る～全国町村会2009年 地域づくり1月号 日本一宣言によるまちづくり事例「サケにこだわるまちづくり実践」(財)地域活性化センター					
取組概要		<p>食中毒の風評被害によって、地域経済が危機に直面した事から、万が一にも食品事故を起さない取り組みとして、漁場・市場・加工・流通までを一貫した浜の高度衛生管理システムの「地域ハサップ」を樹立して、11年を経過。今や「地域ハサップ」は町の誇りや魅力として、鮭や帆立貝のブランド化に大きな貢献をしている。又、この活動を消費者に知らせるために、漁港などの生産現場を開いて消費者への「観光体験の拠点」としての活用を図った「標津版エコツーリズム事業」を創設し、鮭の荷揚げや水産加工などの産業現場体験や漁業者との交流を中心に、農業も含めた産業や生活、自然など町の足元にあった「何気ない地域資源」を「体験観光素材」として磨き上げ、町民ボランティア観光ガイドの養成と組織化の融合によって、今や20校余りの修学旅行が関東・関西方面から訪れる「目的観光地」として成長した。これは、生産現場を開くという「産業の観光化」によって、「観光が産業化」したものである。</p>					
メッセージ		我が町は、人口5千6百人の北海道東部知床半島の基部にある小さな町ですが、江戸元禄年間に鮭によって拓かれた歴史を基礎として、生活・文化、教育、そして何より産業も鮭にこだわる取り組みを特徴付けた「鮭にこだわる町づくり」を、昭和62年の総合計画に位置づけ、以来、25年間、時代の要請とも積極的・柔軟に向き合って、こだわりを持って進めてきました。今や、この取り組みは、海から川を昇り山(酪農業、森づくりなど)に達し、町を挙げた「環境と調和」した運動に進化しています。小さくてもキラリと光る町・標津町の自立した協働によるまちおこし活動です。					
関連ホームページ		<a href="http://www.shibetsutown.jp/">http://www.shibetsutown.jp/</a>				活動エリア	全国

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールのお返事は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。